

# Well-being(幸福)な 社会に貢献する ヘルスプロモーション ～持続可能で公正な社会を目指して～

「Well-being(幸福)な社会」とは、生態系の限界を超えることなく、将来の世代にも公正な健康が提供される社会です。しかし、現実にはWHO(世界保健機関)も指摘するように、世界は貧困、戦争、気候危機などの危機に直面し、パンデミックは社会の断絶を露呈させ、健康格差を拡大させています。こうした危機に直面して、WHOは「Well-beingのためのジュネーブ憲章(2021年)」を提起しました。

今回のカンファレンスでは、Well-being(幸福)な社会を実現するためにヘルスプロモーションを通してヘルスサービスがどのように貢献できるかを議論します。基調講演ではオタワ憲章の起草を担ったイローナ・キックブッシュ氏とジュネーブ憲章の起草の中心を担ったWHOのリューディガー・クレッチ氏による、ジュネーブ憲章の解説も予定しています。ヘルスプロモーションに関心のある皆さんの多数のご参加をお待ちしています。

日時

2023年  
**11月11日** **土**  
13:00~17:40  
**11月12日** **日**  
9:00~13:00

場所

**有明セントラルタワー  
ホール&カンファレンス**  
(東京都江東区有明3-7-18)

当日は会場のみでの開催。後日一部企画のオンデマンド配信を予定。

参加費

[会場・オンデマンド共通]  
HPH加盟 12,000円  
HPH非加盟 15,000円  
大学生・大学院生 1,500円

参加申込開始 ▶ 2023年9月1日(金) 10:00  
~10月20日(金) 15:00

## 企画概要(案) ※変更する場合があります

1日目

2023年11月11日 **土** 13:00~17:40 11日の昼食・夕食は各自でご準備ください。

◆基調講演1「健康格差社会への処方箋～メゾ、マクロレベルのアドボカシー～」

講師:近藤 克則氏(千葉大学予防医学センター 教授)

◆基調講演2「Well-beingのためのジュネーブ憲章について」(動画・字幕あり)

講師:イローナ・キックブッシュ氏(国際開発研究大学院グローバルヘルスセンター長・ドイツ)  
リューディガー・クレッチ氏(WHOヘルスプロモーション局長・ドイツ)

◆ポスターセッション \*抄録募集要項の詳細は、WEBサイトをご覧ください。

2日目

2023年11月12日 **日** 9:00~13:00

◆特別講演「ヘルスプロモーションの歴史と日本における今後の課題と期待」

講師:島内 憲夫(日本HPHネットワークCEO)

◆教育講演とSGD「気候正義とヘルスプロモーションの役割」

講師:桃井 貴子氏(特定非営利法人 気候ネットワーク)

◆WS WS1「明日からできる地域診断 ～医療機関を起点として地域を健康にする～」

講師:河口 謙二郎氏(千葉大学予防医学センター 特任助教)/飯塚 玄明氏(千葉大学予防医学センター 技術補佐員)

WS2「社会的処方実践のヒントを見つけよう」

WS3「世界の各地で起きている戦争、紛争下における難民の健康状態、  
医療状況などを知り、我々にどのような支援ができるのか考える」



# Well-being(幸福)な社会に貢献する ヘルスプロモーション ~持続可能で公正な社会を目指して~

11月11日(土)13:00~17:40(1日目)

13:00~13:20	<b>開会式</b>
13:20~14:50	<b>■基調講演①</b> <b>「健康格差社会への処方箋 ~メソ、マクロレベルのアドボカシー~」</b> 講師:近藤 克則氏(千葉大学予防医学センター 教授)
14:40~14:50	<b>質疑応答</b>
15:10~16:20	<b>■基調講演②</b> <small>録画・字幕あり</small> <b>「Well-beingのためのジュネーブ憲章について」</b> 講師:イローナ・キックブッシュ氏(国際開発研究大学院グローバルヘルスセンター長・ドイツ) リューディガー・クレッチ氏(WHOヘルスプロモーション局長・ドイツ)
16:40~17:40	<b>ポスターセッション</b>

11月12日(日)9:00~13:00(2日目)

9:00~11:30	<b>■ワークショップ</b> <b>WS1「明日からできる地域診断 ~医療機関を起点として地域を健康にする~」(定員:50名)</b> J-HPHはこれまで数回にわたり、地域診断ワークショップを開催してきました。地域診断を通じて地域を理解し、地域特有の課題を明らかにし、その課題に対して他機関と連携して取り組む重要性について理解が広がっています。しかし、実際に地域診断に取り組んでいる医療機関は多くないのが現状です。今回のワークショップでは、地域診断を実践する上での課題や障壁にフォーカスを当て、その克服方法について考えます。地域の課題解決に繋がる具体的なアクションを起こすためのきっかけを提供します。皆様の参加を心からお待ちしております。 *PCまたはタブレットをご持参ください。
	<b>WS2「社会的処方実践のヒントを見つけよう」(定員:50名)</b> スプリングセミナーで開催した「まちづくりとヘルスプロモーション~社会的処方の実践から学ぶ~」に続いて社会的処方の学びを深める企画です。社会的処方について学びたい方、実践していることをさらに進めたい方、これから踏み出そうとしている方、きっとヒントが見つかると思います。ぜひご参加ください。
	<b>WS3「戦争・紛争下における難民の健康状況を考える」</b> 2022年3月5日に開催された第7回J-HPHスプリングセミナーでは「平和と戦争」の問題について考えるワークショップを開催しました。折しもロシアのウクライナ侵攻が始まった直後であり、参加者はみな真剣に戦争のない世界を築くことの大切さを心に刻みました。それから1年半が経ちましたが、いまだに侵攻は続いています。この間にどれだけの市民が傷つき亡くなったことか、それを思うといたたまれない気持ちになります。「ヘルスプロモーションの究極の目標は平和であり、最大の敵は戦争である」、この言葉をしっかりと心に刻み、私たちに何ができるのか、考えていきたいと思えます。
11:50~12:40	<b>■教育講演とSGD</b> <b>「気候正義とヘルスプロモーション ~低炭素社会・経済への公正な移行のために私たちができること~」</b> 気候温暖化は人類の生存に関わる課題です。また、その被害を強く受けるのは社会的に脆弱な立場におかれた人々たちです。このため、ヘルスサービスとしても、いのちと健康に関わる最も重要な課題の一つとして、正義の実現のために貢献していかなければなりません。この間、J-HPHでは気候危機に関連して、温暖化ガスを排出する事業体としてのヘルスサービスの側面に着目した企画と気候危機による患者・市民の健康被害を低減するために住環境をテーマにした企画を持ってきました。今回は、気候正義を実現するための行動(アドボカシー)をテーマとしました。低炭素社会・経済への公正な移行のために私たちができることについて学んでいきたいと思えます。
	<b>■特別講演</b> <b>「ヘルスプロモーションの歴史と日本における今後の課題と期待」</b> 講師:島内 憲夫(日本HPHネットワークCEO)
12:40~13:00	<b>ポスターセッション優秀演題表彰・閉会式</b>

## 【注意事項】

- WS資料は、お申込みいただいたWSのみ受付にてお渡しします。
- 参加費ご入金後の返金は行いませんので予めご了承ください。
- オンデマンド配信は、カンファレンス終了後、準備ができ次第ご案内します。